

DTV の使い方

DTV の基本画面

メインメニューの「DTV」ボタンをタッチして、DTV の基本画面に入ります。

DTV 信号がない場合は、「受信できません」と表示されます。

■ チャンネルスキャンについて

初めてテレビの機能をご使用になる場合は、チャンネルスキャンの実行が必要となります。また、以下の場合においてもスキャン実行が必要となります。

- ・ テレビ設定の初期化を行った場合
- ・ 別のエリアに移動した場合

■ コントロールパネルについて

操作をしない状態が約5秒続くと、コントロールパネルが非表示となります。

コントロールパネルを表示させたい場合は、画面をタッチします。

画面をタッチすると画面の上下に青帯のコントロールパネルが表示されます。

■ 走行規制について

走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。停車中でパーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。

DTV の基本画面（コントロールパネル）



1 モード表示

モードが表示されています。

2 音声ボタン

番組に複数の音声がある場合に主音声（M）/副音声（S）を切り替えることができます。

※切替の内容や順序等は放送している番組によって異なります。

（工場出荷時：主音声）

3 字幕ボタン

番組に複数の字幕がある場合に字幕の ON/OFF を切り替えることができます。

※切替の内容や順序等は放送している番組によって異なります

（工場出荷時：OFF）

DTVの使い方(つづき)

- 4 受信感度表示
現在受信しているチャンネルの感度が表示されます。
- 5 タッチすると、テレビモードからメインメニューに戻ります。
- 6 チャンネルリストボタン
タッチすると、現在受信しているチャンネルリストが表示されます。▲ボタンまたは▼ボタンでチャンネルを選択してから  ボタンをタッチして、左側のウィンドウで再生します。 ボタンをタッチすると、DTVの基本画面に戻ります。チャンネルを2回タッチして、 ボタンをタッチすると、DTVの基本画面に戻ります。チャンネルリストを直接タッチして選択することも可能です。
- 7 9 CH-/CH+ボタン
DTVを受信する時、▲ボタンまたは▼ボタンをタッチすると、前/次のチャンネルに切り替えます。
- 8 メニューボタン
タッチすると、DTVのメニューが表示されます。DTVのメニュー画面の内容はP34を参照してください。
- 10 スキャンボタン
タッチすると、全チャンネルを自動的に検索します。 ボタンをタッチすると、DTV基本画面に戻ります。

DTVの使い方(つづき)

DTVのメニュー画面

DTVの基本画面で、メニューボタンをタッチすると、DTVのメニュー画面が表示されます。



1 番組表ボタン

2回タッチすると、現在受信中のチャンネル番組表一覧が表示されます。

 ボタンをタッチすると、前の画面に戻ります。

※1回タッチしてから、 ボタンをタッチすると、現在受信中のチャンネル番組表一覧も表示されます。

2 設定ボタン

2回タッチすると、DTVの設定画面が表示されます。

※1回タッチしてから、 ボタンをタッチすると、設定画面も表示されます。

DTVの設定画面

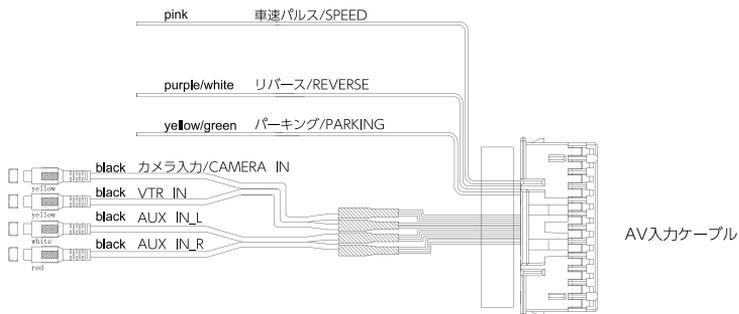


DTVの使い方(つづき)

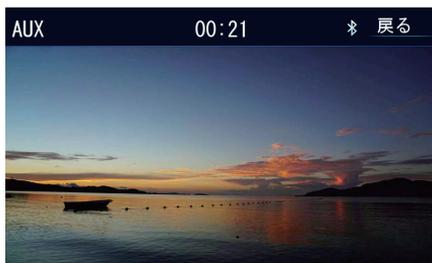
- 2.1 言語
言語タブをタッチすると、言語選択の画面が表示されます。
▼ボタンまたは▲ボタンをタッチして、言語が切り替わります。
※言語：English、日本語
- 2.2 初期化
初期化タブをタッチすると、初期化の画面が表示されます。
 ボタンをタッチすると、初期化します。
- 2.3/2.4 タッチすると、言語が切り替わります。
※言語：English、日本語
- 2.5/2.7 タッチすると、設定項目が切り替わります。
※設定項目：言語、初期化
- 2.6 確認ボタン
タッチすると、直前の操作を行います。
- 2.8 戻るボタン
タッチすると、ワンセグの設定画面に戻ります。
- 3 システム情報
タッチすると、システム情報が表示されます。
 ボタンをタッチすると、前の画面に戻ります。
- 4 スキャンボタン
スキャンについての内容は P33 を参照してください。
- 5 選択ボタン
▲または▼をタッチすると、選択します。
- 6 確認ボタン
タッチすると、選択された項目の画面に入ります。
- 7 戻るボタン
タッチすると、前の画面に戻ります。

外部入力の使い方

付属の AV ケーブルを利用して、外部機器のビデオを本機で再生できます。
「VTR IN」「AUX IN_L」「AUX IN_R」の三本のケーブルで外部機器を本機に接続します。



表示画面例



ステアリングスイッチの使い方

メインメニューで「設定」ボタンをタッチして、本体設定画面が表示されます。本体設定画面で「その他」ボタンをタッチして、右側にリストが表示されます。リストで「ステアリングスイッチ」の右の「設定」ボタンをタッチすると、ステアリングスイッチの設定画面に入ります。

ステアリングスイッチの動作を手動で機能を割り当て、本機に記憶させることができます

ステアリングスイッチの設定画面



- 1 時刻表示**
現在の時刻が表示されます。
- 2 戻るボタン**
タッチすると、メインメニューに戻ります。
- 3 状態/手順表示**
ステアリングスイッチを設定していない場合、「ステアリングスイッチ OFF」という状態を表示します。「開始」ボタンをタッチすると、手順を表示します。
- 4 戻るボタン**
タッチすると、前の画面に戻ります。
- 5 開始ボタン**
タッチすると、ステアリングスイッチの設定を開始します。手順に従って設定してください。
設定手順
 - ① 本機をステアリングコントロール線に接続します。
 - ② ステアリングスイッチ設定画面に入ります。
 - ③ 「開始」ボタンをタッチすると、機能ボタンが明るく表示されます。
 - ④ 画面で表示された手順に従って、設定したい機能のボタンを画面でタッチします。
 - ⑤ 画面で表示された手順に従って、ステアリング側で対応しているボタンを押します。
 - ⑥ 設定が完了します。

ステアリングスイッチの使い方(つづき)

- 6 完了ボタン
ステアリングスイッチ設定が完了してからタッチすると、設定できた機能のボタンが表示されます。
 - 7 初期化ボタン
タッチすると、ステアリングスイッチが OFF になります。
 - 8 注意表示
注意を促す内容が表示されます。
 - 9 機能ボタン表示
ステアリングスイッチ設定可能な機能ボタンが表示されます。
- ※ ステアリングスイッチは最大 8 個の機能を設定できます。先程の設定方法に従いそれぞれ設定してください。
 - ※ 設定を間違えた場合には、「開始」ボタンを再度押しははじめから設定してください。

ご注意

- ※ 車種により対応できないキーがあります。

Bluetooth® の使い方

Bluetooth とは、産業団体 Bluetooth SIG により提唱されている携帯情報器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz 帯の電波利用して Bluetooth 対応機器通して通信ができます。本機では、Bluetooth に対応する携帯電話及びオーディオ機器を接続して利用できます。利用するには本機に登録（ペアリング）する必要があります。

Bluetooth デバイスの接続手順

初めて Bluetooth 対応携帯及びオーディオ機器を利用する時は、本機とペアリングする必要があります。

- ① メインメニューで「Bluetooth」ボタンをタッチして、Bluetooth モードに入ります。
- ② ペアリングしたい Bluetooth デバイスの Bluetooth 設定を ON にして、本機を検索します。デバイス側に TZ-NAV02 と表示されます。
- ③ Bluetooth モードで「デバイス」ボタンをタッチして、右側の画面に「追加」ボタンがあります。「追加」ボタンをタッチすると、本機で Bluetooth デバイスを検索します。
- ④ 本機で Bluetooth デバイス名が表示されてから、デバイス名を選択してペアリングボタンをタッチします。
- ⑤ ペアリングボタンをタッチしてからペアリングを開始します。本機側の指示に従い、パスワードを入力します。ペアリングできた後、「決定」ボタンをタッチすると、ペアリング成功画面に切り替えます。

ペアリング画面



- 1 タッチすると、前の画面に戻ります。
- 2 タッチすると、ペアリングをやり直します。
- 3 ペアリングボタン
タッチすると、ペアリングを開始します。

Bluetooth® の使い方(つづき)

ペアリング成功画面



⚠️ ご注意

- ※Bluetooth デバイスが初めて本機を検索する時には時間がかかります。
- ※本機は一部の Bluetooth オーディオプレーヤーでは正しく動作できない場合があります。
- ※本機と携帯電話との互換性については保証いたしかねます。

Bluetooth® の使い方(つづき)

Bluetooth デバイスの削除手順

接続画面で「削除」ボタンをタッチすると、デバイスの接続を解除します。

⚠️ ご注意

- ※ 携帯電話の機種によっては、パスコードの入力が必要になります。
- ※ 機種によっては、本機に入力したパスコードと携帯電話側のパスコードが同一かを確認する画面が表示されます。
その場合は、画面に従って操作してください。
- ※ 本機では、最大5台登録 [ペアリング] することができます。
- ※ 本機と Bluetooth デバイスの接続範囲は約 5 m です。
- ※ 接続する携帯電話によっては、正しく通話できないことがあります。

Bluetooth 電話を掛ける(発信)

番号入力、電話帳、履歴を利用して、本機から電話を発信することができます。

番号入力

メインメニューで Bluetooth ボタンをタッチして、Bluetooth モードに入ります。
Bluetooth モードで「番号入力」をタッチすると、10 キーパッド画面が表示されます。

10キーパッド画面



Bluetooth® の使い方(つづき)

- 1 Bluetooth モードのメニュー
- 2 10 キーパッド
- 3 発信ボタン

電話番号入力後、このボタンをタッチして発信します。表示された発信画面で終話ボタンをタッチすると、前の画面に戻ります。電話発信して、通信状態になると、通話画面に切り替わります。

通話画面



- 3.1 マイク音量ボタン
タッチすると、音量を調整できます。「+」ボタンまたは「-」ボタンをタッチしてこちらの音量を調整します。
- 3.2 通話中の情報を表示します。
- 3.3 10 キーパッドを表示します。
- 3.4 消音ボタン
タッチすると、本機のマイクをミュートします。相手はこちらの声が聞こえなくなります。
- 3.5 ハンズフリーを止めます。
- 3.6 終話ボタン
タッチすると通話を終了します。

Bluetooth® の使い方(つづき)

電話帳

メインメニューで「Bluetooth」ボタンをタッチして、Bluetooth モードに入ります。Bluetooth モードで「電話帳」をタッチすると、接続中の携帯電話に保存されている電話番号リストが表示されます。

人名や番号をタッチして、表示される番号をタッチすると、発信します。

※携帯電話によっては、電話帳が正しく表示されず、文字化けする場合があります。

※電話帳の並びは必ずしも携帯電話と同じ並びにはなりませんのでご注意ください。

履歴

メインメニューで「Bluetooth」ボタンをタッチして、Bluetooth モードに入ります。

Bluetooth モードで「履歴」をタッチすると、接続中の携帯電話に、保存されている通話履歴（不在着信/ 着信履歴/ 発信履歴）が表示されます。

ダイヤルしたい相手先をタッチして発信します。

電話を受ける(着信)

本機は携帯電話とペアリングしている状態で着信をした場合、着信中の画面になります。Bluetooth 設定画面で自動応答を ON に設定すると、着信の約 5 秒後に自動的に応答することができます。

通話を開始すると、通話画面(P42 を参照してください)に入ります。

Bluetooth® の使い方(つづき)

Bluetooth AUDIO モード

ペアリングが完了したあと、Bluetooth モード画面で「Bluetooth AUDIO」ボタンをタッチすると Bluetooth AUDIO モードに入ります。

Bluetooth AUDIO モード画面



- 1** 情報表示
再生中のトラック情報が表示されます。
※接続しているデバイスによっては、正しく表示されない場合もあります。
- 2** 前へボタン
タッチすると、前の曲に戻ります。
- 3** 再生/一時停止ボタン
再生中にタッチすると一時停止になります。再度タッチすると再生になります。
- 4** 次へボタン
タッチすると、次の曲に進みます。

Bluetooth® の使い方(つづき)

Bluetooth 設定画面

Bluetooth モードの画面で「Bluetooth 設定」ボタンをタッチすると、Bluetooth 設定画面が表示されます。

Bluetooth 設定画面



- 1 自動応答ボタン
タッチするたびに、自動応答をオン/オフ設定します。
(工場出荷時：OFF)
- 2 自動接続ボタン
接続が切断されたり、システムが再起動した場合、本機が自動的に Bluetooth デバイスへの再接続を実行します。(工場出荷時：ON)
- 3 マイク音量ボタン
本機のマイクの音量を調整します。

⚠️ ご注意

※ 本機のスピーカー音量を調整する機能ではありません。本機のスピーカー音量を調整する時は、音量調整ボタンを使ってください。

- 4 バージョン
Bluetooth のバージョン情報を表示します。

バックカメラについて(オプション品)

- バックカメラは、障害物等を確認するための補助手段として使用してください。
- ディスプレイだけを見ながら後退することは、絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を十分確認してください。
- バックカメラの映像はバックミラーやサイドミラーで見ると同じ左右反転させた映像です。また、車により見え方が異なります。十分にご注意ください。

⚠️ ご注意

- ※ 高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください、カメラが脱落するおそれがあります。

バックカメラの映像を映す

シフトギアを「R」へ入れるとバックカメラの映像を映します。

バックカメラ映像画面



- シフトギアを「R」以外へ入れるとバックカメラの映像を解除します。

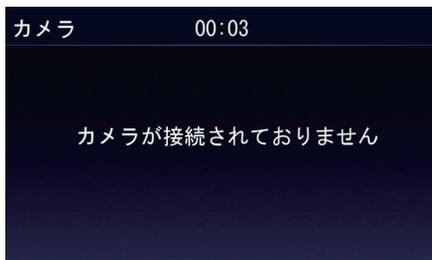
⚠️ ご注意

- ※ バックカメラ画表示中はCD挿排、ボリュームアップ/ダウン、ミュート操作以外は操作できません。

バックカメラについて(オプション品)(つづき)

- バックカメラが接続されていない場合、以下のような画面を表示します。

バックカメラ未接続画面



⚠️ ご注意

- ※ バックカメラ未接続時はシフトギア「R」時、必ず上図の画面になります。シフトギア「R」解除以外、上図の画面は解除できません。
- ※ バックカメラ未接続画面表示中もCD挿排、ボリュームアップ/ダウン、ミュート以外は操作できません。

ガイド線を表示する

- ① シフトギアを「R」へ入れます。
- ② バックカメラ映像が表示されている状態で、画面をタッチします。

バックカメラ映像画面



バックカメラについて(オプション品)(つづき)

- ③ ガイド線が表示されていない状態で、「ガイドライン表示」ボタンをタッチします。

ガイド線表示画面



⚠ ご注意

- ※ ガイド線が表示されている状態で「ガイドライン表示」ボタンを押すと、ガイド線を解除します。
- ※ 操作する場合、ブレーキを踏んだ状態もしくは、パーキングブレーキを引いた状態で行ってください。

ガイド線を調整する

- ① シフトギアを「R」へ入れます。
- ② バックカメラ映像が表示されている状態で、画面をタッチします。

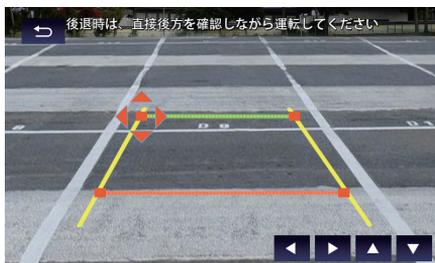
バックカメラ映像画面



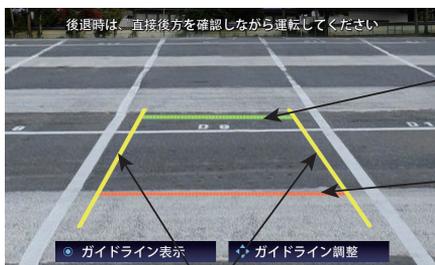
バックカメラについて(オプション品)(つづき)

- ③ 「ガイドライン調整」ボタンをタッチします。
- ④ 調整したいガイド線の頂点を押し、が点滅することを確認します。
- ⑤ ボタンでガイド線を調整します。

ガイド線調整画面



※ご参考



車両最後端より約2mを目安に調整することをおすすめします。

車両最後端より約50cmを目安に調整することをおすすめします。

車両と平行に見える様に調整することをおすすめします。

バージョンアップについて

本機のソフトウェアをバージョンアップする

ご注意

- ※バージョンアップ中は電源を切らないでください。電源を切った場合は正常にバージョンアップできない可能性があります。また、その際正常動作しなくなるおそれがあります。

アプリケーションのバージョンアップ

- ① 新しいソフトウェア「SW_Update」ファイルを空の microSD カードのルートにコピーします。
- ② ソフトウェアが格納された microSD カードを本機の microSD カードの挿入口に差し込みます。
※地図専用 microSD は無くさないように保管ください。
- ③ 本機を起動します。
- ④ 画面の説明に従って操作します。
- ⑤ バージョンアップした後、タッチパネル補正します。
- ⑥ タッチパネル補正が完了してから、本機は自動的に再起動します。
- ⑦ タッチパネル補正の操作方法は P25 を参照してください。

本機のOS(オペレーティングシステム)をバージョンアップする

- ① 新しいソフトウェア「SPA6BASE」ファイルを空の microSD カードのルートにコピーします。
- ② ソフトウェアが格納された microSD カードを本機の microSD カードの挿入口に差し込みます。
- ③ 本機を起動します。
- ④ 自動的にバージョンアップします。
- ⑤ バージョンアップした後、本機は自動的に再起動します。

対応メディア・データの仕様

再生できる圧縮ファイルと対応メディア

次の表に「○」が表示されているデータを再生できます。

【音楽ファイル】

音声形式	ファイル拡張子	CD-R/RW	USB
MP3	mp3	○	○
WMA	wma	○	○

再生できる圧縮ファイルの仕様について

音楽ファイル

MP3ファイル

フォーマット	MPEG 1 Audio Layer Ⅲ MPEG 2 Audio Layer Ⅲ MPEG 3 Audio Layer Ⅲ
周波数 (kHz)	MPEG 1 Audio Layer Ⅲ : 8~48 MPEG 2 Audio Layer Ⅲ : 8~48 MPEG 3 Audio Layer Ⅲ : 8~48
ビットレート (kbps)	MPEG 1 Audio Layer Ⅲ : 8~320 MPEG 2 Audio Layer Ⅲ : 8~320 MPEG 3 Audio Layer Ⅲ : 8~320
チャンネルモード	ステレオ、モノラル

※VBR（可変ビットレート）に対応しています。

WMAファイル

フォーマット	wma
周波数 (kHz)	32~48
ビットレート (kbps)	32~192
チャンネルモード	ステレオ、モノラル

対応メディア・データの仕様(つづき)

ディスクの仕様

次のディスクを再生できます。

種類	可否	備考
市販の音楽CD	○	 の表示があるディスク
市販のCD-TEXT	○	 の表示があるディスク
CD-R	○	  の表示があるディスク再生できるデータの仕様については次をご覧ください。 ・再生できる音楽ファイルについて (51ページ) ・ファイルフォーマットについて (51ページ)
CD-RW	○	
CD-ROM	○	
CD-Extra	○	オーディオセッションのみ再生できます。 Dataセッションが2セッション以上記録されている個人が作成したディスクは再生できません。
HDCD	○	通常の音楽CDの音質で再生します。

再生できないディスクについて

次のディスクは故障の原因となりますので、使用しないでください。

- ひびがはいったり、そりが大きいディスク
- シールやテープ、ノリが付着しているディスク
- ハート形等の円形以外の特殊形状のディスク
- ディスク保護用のアクセサリ (スタビライダー、保護シール) やCDラベルを使用したディスク
- 音質向上や防振用のアクセサリ (CDリング・プロテクターなど) を使用したディスク
- 8cmディスク
- Super Audio CD
- コピーガード付きCD
- DTS CD
- ビデオCD
- MIX MODE CD
- CCCD
- フォトCD
- デュアルディスク

注意

- ※ ファイナライズ処理されていない「CD-R」「CD-RW」ディスクは、再生するまでの時間が長くなります。また、記録状態によっては再生できない場合もあります。
- ※ ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフト、レコーダーのマニュアルをご覧ください。
- ※ ノンストップで記録された音楽CD/CD-TEXTの場合、曲間でミュートされることがあります。

対応メディア・データの仕様(つづき)

USB メモリの仕様

使用できるUSBメモリは次のフォーマットです。

対応クラス	マストレージクラス
対応 USB Ver.	USB2.0
最大消費電流	0.5A

- ※ 市販のUSB充電コードの種類によっては正しく認識できない場合があります。
- ※ 充電時の電流は1Aです。

地図用 SD カードの仕様 (付属品)

カード種類	microSD
容量	8GB
スピードクラス	Class 10

Bluetooth の仕様

ハンズフリー

Bluetooth仕様	Bluetooth Specification Ver.4.0
	・ HFP Ver.1.5
	(Hands Free Profile)
	・ OPP Ver.1.2
	・ PBAP Ver.1.1
	(Phone Book Access Profile)

Bluetooth Audio

Bluetooth仕様	Bluetooth Specification Ver.4.0
	・ A2DP Ver.1.2
	(Advanced Audio Distribution Profile)
	・ AVRCP Ver.1.5
	(Audio/Video Remote control Profile)

知っておいていただきたいこと

GPSの測位について

- 現在地が正確に表示されてから走行ください。
測位状態が不十分な時に走り出すと自車位置がずれる場合があります。
- お買い上げ後、初めてご使用になるときや長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがあります。しばらくするとGPSの測位によって表示位置などが修正されます。

【準天頂衛星みちびきについて】

本機は、準天頂衛星みちびきからの受信に対応しています。

準天頂衛星は、日本のほぼ天頂（真上）を通る軌道を持つ人工衛星による衛星システムです。山間部や高層ビル街などGPS信号が届きにくい場所でも受信しやすいため、測位精度の向上に効果を発揮します。

ただし、時間帯によっては受信できない場合があります。

本機で使用するデータについて

- 悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスクおよびmicroSDカードのデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。
- 本機は精密機器であり、静電気、電気的なノイズ、振動などにより記録されたデータが消失する場合があります。
- 本機以外の製品で地図用microSDカードを使用しないでください。データが破損するおそれがあります。

免責事項

- 地図データを使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害にも、弊社はその責任を負いかねます。
 - 本機および地図データの誤字・脱字・位置ずれなど表記または内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。
 - 地図データに含まれる機能がおお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。
 - 本機は使用中にメディアや機器のデータなどが消失した場合、消失したデータの補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本機の故障、誤作動、または不具合などにより、あるいは本機が電気的なノイズの影響などを受けたことにより、お客様が記録されたディスク/USB内のデータなどが変化・消失した場合。
 - お客様、または第三者が本機の使用を誤ったことにより、microSDカード内の地図データや基本プログラム、お客様がディスク/USBに記録されたデータなどが変化・消失した場合。
 - 本機の故障・修理に際し、お客様が記録されたディスク/USB内のデータなどが変化・消失した場合。
- ※ なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。

知っておいていただきたいこと(つづき)

再生時の注意事項について

- 寒いときや雨降りのかきは、本機内部に結露が発生することがあります。この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- 気温が低いときにヒーターをつけた直後では、CD読み取り部のレンズに結露が発生することがあります。このような場合は1時間ほどそのままの状態では放置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じるとプレーヤーは自動で停止します。画面のメッセージにしたがって操作しても動かない場合は、故障のおそれがありますので、SOLINGサポートセンターにご相談ください。
※以下サポートセンターURL
[<https://www.soling.co.jp/support/>]

液晶パネルについて

- 液晶画面に直射日光が当たると光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさげてください。

電装品の使用について

- 本機の近くで強力な電気的なノイズを発生する電気機器を使用すると、その影響で画面の乱れ、タッチ操作不能、雑音などの異常が発生する場合があります。その場合、電気機器を遠ざげるか、ご使用を控えてください。
例：インバータ、イオン発生器など

Bluetooth 使用上の注意事項について

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。(上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します)この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

2.4 FH 1

この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。
変調方式としてFHSS方式を採用しています。
想定与干渉距離は10m以下です。
全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

知っておいていただきたいこと(つづき)

※本機は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。本機に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。

※本機を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクは直射日光をさけ、必ずケースに入れて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- 記録面に触れないように持ってください。ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。
- ディスクが汚れた場合、市販のディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。
- 新しいディスクには、センターホールや外周部“バリ”があることがあり、そのまま使用すると、正常に作動しない場合があります。
ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。

個人情報を消去する方法について

転売時など個人情報を消去する場合は、工場出荷時の設定（初期化）にしてください。

※工場出荷時の設定にすると全てのメモリがクリア（初期化）されるため元に戻すことができません。（25ページ参照）

お手入れについて

本機のお手入れについて

- タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください。汚れをおとす場合は、柔らかい布（シリコンクロスなど）で軽くおさえるようにして拭いてください。布の上からであっても爪などの硬い物で強くこすらないでください。
- 汚れがひどい場合は、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってからふきとり、乾いた布でしあげてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品やツヤ出し剤は使用しないでください。変質したり、塗装がはげることがあります。

アンテナのお手入れについて

- 掃除をする場合は、タオルや柔らかい布などで軽く押さえるようにして拭いてください。爪などでこするとアンテナパターン線がはがれる原因となります。
※アンテナ部からコードを取りはずさないでください。
無理に取りはずすと動作できなくなり、再使用もできません。
※コードのコネクタ部分に力をかけないでください。

バッテリーの交換について

バッテリーの交換について

重要

- 本機やバッテリーを取り外した場合、本機に保存されている情報は初期化されません。
 - ※ ACC OFFをせずに、直接+BをOFFした場合や、バッテリーを取り外した場合、前回ACC OFFした際のメモリが保持されます。
- 車の点検やバッテリーの交換を行う際はご注意ください。

契約約款/商標について

商標・著作権について

- microSD Logo is a trademark of SD-4C,LLC.
-  Bluetooth® Bluetoothワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG.Incが所有する登録商標であり、SOLINGはこれら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび称号は、各所有者が所有する財産です。

著作権について

- MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

仕様書

品名	6.75インチAV一体型メモリーナビゲーション
型番	TZ-NAV02
ディスプレイ	6.75型TFT LCD LED/バックライト 解像度800×480RGB (WVGA)
microSDカード	地図専用
FM/AM受信周波数	FM:76MHz~95MHz AM:522kHz~1629kHz
USB	2.0AUDIOのみ (MAX.:32GB対応)
使用電源	DC12V (10.8V -16V)
最大出力	45W×4
スピーカーインピーダンス	4Ω
動作温度範囲	-20℃~+70℃
AV IN/OUT	AV IN 1系統
寸法	約178×100×165mm
本体重量	約 1.8 Kg
マルチメディア	
Audio	MP3/WMA
Bluetooth	4.0
対応ディスク	CD-R/CD-RW
付属品	
取扱説明書(本体)	○
取扱説明書(ナビ専用)	○
電源ケーブル	○
AV入力ケーブル	○
GPSアンテナ	○
GPSアンテナ固定用両面テープ	○
DTVアンテナ	○
地図専用microSDカード	○
取り付けネジ	○
保証書	○

※本機の仕様及び外観は、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。

索引

Q&A 索引

一般項目

Q1：電源が入らない

- A1：電源ケーブルは正しく接続されていますか？
配線を確認してください ----- —
ヒューズは切れていませんか？
ヒューズを交換してください（10A） ----- —
他の機器のノイズを受けていませんか？
本機から他の機器を離してください ----- —

Q2：タッチパネルが反応しない 反応がわるい

- A2：タッチパネルの補正は行いましたか？
タッチパネル補正を行ってください ----- 25

Q3：再生できない

- A3：ディスクが汚れていませんか？
ディスクをクリーニングしてください ----- —
この機器に対応したディスクですか？
ディスクを確認してください ----- 52
ディスクが正しく挿入されていますか？
ディスクの向きを確認してください ----- —

Q4：音が出ない

- A4：ミュートになっていませんか？
ミュートを解除してください ----- —
正しく配線されていますか？
配線を確認してください ----- —

Q5：音量が小さい

- A5：ボリュームが小さく設定されていませんか？
音量を上げてください ----- 14

Q6：前または後ろのスピーカー から音が出ない

- A6：前後のバランスは0になっていますか？
セットアップ項目からスピーカーのバランスを確認してください ----- 22

Q7：左または右のスピーカー から音が出ない

- A7：左右のバランスは0になっていますか？
セットアップ項目からスピーカーのバランスを確認してください ----- 22

索引(つづき)

Q8：液晶のドット欠け

A8：液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られており、画面の一部に点灯しないドットや 常時点灯しているドットがある場合がありますが、これは故障ではありません。-----

FM/AM

Q1：電波が受信できない

A1：アンテナは接続されていますか？オートアンテナ電源は接続されていますか？
アンテナの接続をご確認ください。-----

LOC/DX 機能は設定しましたか？

DX を選択してください ----- 27

DISC/USB AUDIO

Q1：再生できない

A1：メニュー画面でチャプター選択の画面ではないですか？
チャプターを選択してください -----

Q2：音が出ない

A2：ボリュームが小さく設定されていませんか？

ボリュームを上げてください ----- 14

ミュートになっていませんか？

ミュートを解除してください ----- 29/31

Q3：ディスク再生中ノイズが大きい・回転音が大きい

A3：ディスクに傷や曲がりはないですか？

ディスクは汚れていませんか？

ディスクは本機に対応していますか？

ディスクを交換、確認してください -----

Q4：MP3 再生中、ノイズが大きい・再生できない

A4：MP3ファイルが対応のフォーマットのものかご確認ください。

圧縮は正しく行われていますか？

フォーマットを確認してください ----- 51

Q5：メディア再生中、順番が異なる

A5：ファイル名の半角、全角、数字は正しいですか？

ファイル名を確認してください -----

索引(つづき)

Bluetooth

Q1 : Bluetooth 対応デバイス接続後に音質が悪くなった

A1 : Bluetooth 通信の状態は良いですか？

デバイスを本機の近くに移動してください。-----
障害物を取り除いてください -----

Q2 : ペ어링できない

A2 : デバイスが本機に必要なプロファイルをサポートしていますか？

他のデバイスを接続してください ----- **53**

デバイスの Bluetooth 機能が有効になっていますか？

デバイスの Bluetooth 機能をオンにしてください ----- **39**

本機の Bluetooth 機能がオンになっていますか？

本機の Bluetooth 機能をオンにしてください ----- **39**

※ Bluetooth は小電力で通信するシステムですので、外部からの影響を受けやすいです。
スキャンとペ어링を繰り返すと、状況が改善することがあります。

索引(つづき)

本書索引

五十音順

ア

安全上のご注意	1
お手入れについて	57
音楽 DISC プレーヤーの使い方	28

カ

外部入力の使い方	36
契約約款/商標について	59
構成部品	5

サ

知っておいていただきたいこと	54
仕様書	60
ステアリングスイッチの使い方	37

タ

対応メディア・データの仕様	51
取り付け時の警告と注意	7
取り付けについて	9

ハ

バージョンアップについて	50
バックカメラについて	46
バッテリーの交換について	58
本機の設定	19
本体について	13
本書の索引	64
本書の見方	3

ラ

ラジオの使い方	26
---------	----

索引(つづき)

本書索引

アルファベット順

B

Bluetooth® の使い方 ----- 39

D

DTVの使い方 ----- 32

Q

Q&A 索引 ----- 61

U

USB メモリの使い方 ----- 30

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、お買い求めの販売店
またはSOLINGサポートセンター
[URL:<https://www.soling.co.jp/support/>]までご連絡ください。

販売元：トヨタ部品大阪共販株式会社